

チーム金剛中だより

令和6年9月号

寺池台一丁目1番1号 0721-29-1404



発行責任者 教頭 村井 淳志

<http://www.city.tondabayashi.osaka.jp/kongo/>

動けば変わる!!

私は富田林市で中学校教員をしているただの一般人で、テレビや本、DVD 等に出演している人って特別な人で、別世界にいる人だとずっと思っていました。ある日までは…。

エピソード1

20年程前、バレー部の顧問をしていたころ、奈良県五條市立五條東中学校バレー部の指導DVDをよく観て研究をしていました。するとある日「そんなDVDばかり観てんと、直接教えてもらったらええねん。奈良やから近いやん！」と隣の先生が声をかけてくれました。勇気を振り絞りお昼休みに私は五條東中学校に電話をしました。受話器を持つ手と声は震えていたと思います。「あの～、先生の指導を勉強したくて、ぜひ一度練習を見学させてもらえませんか？」すると『かまへんよ～、先生だけじゃなくて生徒も一緒に連れておいでえ～、早い方がええやろ、今週の日曜日空いてるから一緒に練習しよう！』と…。緊張がほぐれたと同時に嬉しさとワクワク感が全身を駆け巡ったのを覚えています。



エピソード2

ふと本屋で手にした「私が一番受けたいココロの授業（比田井和孝、美恵 著）」の本、タイトルの“授業”についつい反応して購入しました。家に帰ってさっそく読んでみると、面白過ぎて興奮しながらページをめくっていました。読み終える頃には「この授業を受けてみたい！」という気持ちでいっぱい、次の日、上田情報ビジネス専門学校に電話をしていました。「本を読んで感動しました、もしよろしければ授業を見せていただけませんか？」と伝えると『来週の○曜日の午前中に授業があるのでどうぞお越しください！』『午後から時間がありましたら、学校説明会があるのでご一緒しませんか？』と…。予想外のお誘いに心臓がバクバクし興奮したのを覚えています。



私は20代前半まで自分で勝手に「自分はこんなもんだ…」「自分の限界はここだ…」と思い込んで、できる範囲でやれることだけをやってきました。しかし、勇気を振り絞って行動した結果、世界が広がり、自分に自信を持つことができ「やればできる!」「動けば変わる!」ということがわかりました。みなさんにとってこの話が参考になるかわかりませんが、『そ～いえば教頭先生こんな話してたなあ～』と記憶の片隅に置いてもらえると幸いです。

最後に「手紙屋（喜多川泰著）」の中に出てくる大好きな言葉を贈ります。

あなたの能力は、今日のあなたの行動によって、開花されるのを待っています。

9月の行事予定

日	曜	給食	部活	行 事
8/29	木	×	×	始業式・会議日 一斉下校 部活なし 放:保体委員会
30	金	×	○	〈45分×4〉4限:メンバー決め
31	土			
9/ 1	日			
2	月	×	×	〈45分×4〉短縮授業終了
3	火	○	○	3年チャレンジテスト 12年実力テスト 6限:メンバー決め 体育祭メンバーメ切り
4	水	○	×	〈45分×6〉会議日 6限:応援練習
5	木	○	○	
6	金	○	○	
7	土			
8	日			
9	月	○	×	会議日
10	火	○	○	脊柱一次(2年生)13:30~ 放:委員会活動(分割)
11	水	○	○	
12	木	○	○	放:委員会活動(分割)
13	金	○	○	
14	土			
15	日			
16	月			敬老の日
17	火	○	○	3年部活アルバム写真
18	水	○	×	会議日
19	木	○	○	3年部活アルバム写真
20	金	○	○	〈45分×6+生徒集会〉
21	土			
22	日			秋分の日
23	月			振替休日
24	火	○	○	
25	水	○	○	
26	木	○	×	〈45分×6〉会議日
27	金	○	○	56限:応援ローテーション練習
28	土			
29	日			
30	月	○	○	

